

## 会 議 録

会 議 名	第4回東浦町景観まちづくり委員会	
開 催 日 時	平成29年2月22日（水） 午前9時から午前11時まで	
開 催 場 所	東浦町勤労福祉会館 2階 会議室2	
出 席 者	委 員	海道清信氏(委員長)、久米弘氏(副委員長)、 出村嘉史氏、梶川幸夫氏、成田盛雄氏、竹田正 巳氏、久米義金氏、万木和広氏、青山佳子氏
	事務局	神谷町長、近藤建設部長、服部建設部次長 久米都市整備課長、岡本課長補佐、榊原都市計 画係長、工藤主事 ㈱国際開発コンサルタント 森下氏
議 題 (公開又は非公開の別)	明徳寺川周辺の地区における景観まちづくりについて (公開)	
傍聴者の数	2名	
議 論 内 容 ( 概 要 )	議題の議論内容については、別紙のとおり	
備 考		

【明徳寺川周辺の地区における景観まちづくりについて】

事務局： 前回の委員会にて、平成 29 年度以降の行動計画を示した「明徳寺川行動計画（素案）」について議論いただいている。今回は、議論いただいた内容を踏まえ、修正したものを用意したため、修正箇所について確認いただきたい。詳細については、国際開発コンサルタンツより説明

コンサル： 資料 2 「明徳寺川行動計画（素案）」について説明

委員： 景観特性として表示されているパノラマ写真が小さく、見にくい。

委員長： 現段階では、「明徳寺川行動計画」というタイトルだが、景観まちづくりを行うことが目的の行動計画であることがわかるものとするべき。

委員： ビスタ景観、コンケイブ景観、パノラマ景観等の専門用語に対する説明が必要である。

委員長： 現段階では、図面資料が A3 版用紙を折り込んだ形で編集されている等、見にくい構成になっている。もう少し読み手を意識した工夫が必要である。

委員： 明徳寺川における景観が具体的にどう良好なのかについて、説明が必要。良好な景観の場所が様々で複数あり、書ききれないのであれば、数点例を挙げて説明する形でも良いと思う。

委員： 本来は優れた眺望点であるはずなのに植樹で阻害されている藤塚公園等の「潜在する優れた風景」についての記載も必要である。

委員長： 地域で共感を得るための方策「共感プロジェクト」については、景観まちづくり委員会で部会を作る等分担して効率的に実行するべき。

委員： 景観まちづくり委員会をオープンな場所で開催し、誰でも参加可能とすれば、「共感プロジェクト」になり得るのではないか。

委員長： 「共感プロジェクト」に係る工程表はあくまで一例を示したもので

ある。詳細な内容については来年度整理することとする。

委員： 再会広場で白いスイセンを植える活動をしている写真及び自然環境学習の森で活動している写真の掲載をするべきだ。

委員： 行動計画図（案）の編集が分かりにくい。

委員： 「建築物の形態意匠等のルールを作ることによってまち並みを良くする」という目的が「制限」という言葉を使うと伝わりにくい。「デザインルール」という言葉を使ってはどうか。

委員： 「10年後明徳寺川周辺の景観がこうなったら良いな」という将来像がわかるような記述が必要ではないか。

委員長： 今回の議論で出た意見をまとめ、委員長が最終的なチェックを行い、行動計画の完成としたい。異議はあるか。

委員： 異議なし。

委員長： 以上で本日の議事を終了とする。